

## A. 体験型イベント事業

## 子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業 実施計画書

団体名	〇〇市実行委員会		
担当者氏名	文化 太郎		
所在地	(〒123-4567) 京都府〇〇市〇〇〇〇〇〇		
TEL	000-00-0000	／FAX	000-00-0000
E-mail	〇〇〇@×××.lg.jp		

1. 実施計画の名称	〇〇〇市伝統文化親子体験フェスタ
2. 実施計画の期間	令和3年9月〇〇日～令和3年12月〇〇日
3. 実施計画の背景・目的	<p>※1 事業を実施するにあたっての背景や、本事業を通して解決したい地域課題等がわかるよう、具体的に記載してください</p> <p>※2 事業を実施するにあたっての工夫点や、活用する地域特性・地域資源など、具体的に記載してください</p> <p>※3 事業を実施することにより期待される効果などを記載してください</p> <p>(1) 〇〇市の背景(法人団体の場合は団体区分・団体設立年月・団体の活動内容等記載) 当市では、平成〇〇年に××計画を策定するなど、地域の文化や歴史的建造物群を活かしたまちづくりを進めてきた。具体的には、地域の〇〇を活かし……………。</p> <p>当団体は、平成●●年▲月に設立された一般社団法人であり、★★分野の振興等を目的とした活動を実施してきた。具体的には平成●●年より全国で教室を開設し……………。</p> <p>(2) 地域課題(法人団体の場合は、団体が振興等を目的としている伝統文化等に対する課題等記載) 過疎化や少子高齢化等により、地域の伝統芸能の担い手が不足し、地域の子供に継承していく機会が減少している状況にあり……………。</p> <p>当団体では★★分野の振興等を目的としているが、過疎化や少子高齢化等により、地域の伝統芸能の担い手が不足し、地域の子供に継承していく機会が減少している状況にあり……………。</p> <p>(3) 事業を実施する上での工夫点や活用する地域特性・地域資源など 当市(団体)では、これまでから茶道体験教室や華道体験教室、郷土食作り体験教室など、地域の親子を対象とした様々な伝統文化を体験できる教室を実施してきた。今回はこれまで実施してきた体験教室に加え、地域の伝統芸能〇〇太鼓や△△△などを体験できる教室を、〇〇太鼓保存会の協力を得て……………。</p> <p>(4) 本事業を実施することで期待される効果 本フェスタで実施する体験教室において、子供たちが茶道や華道、地域の伝統芸能〇〇太鼓や△△△を体験する機会を提供することで、子供たちが地域に誇りを持つとともに、各分野を横断したネットワークを構築することが出来る。</p> <p>また、ここで構築されるネットワークを次年度以降も継続していくために、半年に1回程度のネットワーク会議を〇〇市が主体となって実施予定。</p>
4. 対象とする伝統文化・生活文化・国民音楽	茶道, 華道, 食文化, 伝統芸能(〇〇太鼓, △△△)

A. 体験型イベント事

5. 実施事業の内容 ※必要に応じ枠の大きさは変更してよいが3ページ以内

- ※1 取組に係る内容や想定される効果など、具体的に記載してください
- ※2 教室実施型と連携して実施する場合、その団体名及び教室名を記載してください
- ※3 地域連携事業の場合、事務局で実施する事業と各教室で実施する事業に分けて記載してください

〇〇〇市伝統文化親子体験フェスタ

- 開催時期: 令和3年11月頃 1日間(予定)
- 開催場所: 〇〇〇市総合文化会館
- 参加対象者及び参加予定者数: 市内在住の親子 200名

■内容

(1) 伝統文化体験ブース

① 茶道体験

.....  
 .....  
 .....

② 華道体験

.....  
 .....  
 .....

③ 伝統芸能体験

・〇〇太鼓

.....  
 .....  
 .....

・△△△

.....  
 .....  
 .....

6. 実施事業の体制(実行委員会等(事業実施者)の概要については別紙1のとおり)

※どのような体制で事業を行うか、具体的に記載してください。※特に地方公共団体との連携については詳しくご記入ください。

・市役所内での関係課との連携

△△市〇〇課や市教育委員会とも連携。事前の関係者連絡会議から参画予定。

・市内の関係団体との連携

〇〇太鼓保存会や□□□会の協力を得て実施。事前の関係者連絡会議から参画予定。

・参加団体によるネットワーク会議の開催

参加団体によるネットワーク会議を構築し、教室終了後に反省会と今後の市内の伝統文化等の現状について意見交換を実施する。

7. 実施事業の広報

※どのような広報活動を行うか、具体的に記載してください

・市広報誌による周知

・市内小学校へのチラシ配布

・市内の公民館、お店等へのチラシ配布

・SNS等を活用した広報活動

・団体所有のホームページでの広報活動、団体の会員へのお知らせの発送

実行委員会等（事業実施者）の概要

(ふりがな) 名称	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		(ふりがな) 代表者職名・氏名	いいんちょう 〇〇 〇〇	
	〇〇市〇〇実行委員会			委員長 〇〇 〇〇	
所在地	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町1-1-1		電話番号	***-***-****	
			FAX番号	***-***-****	
実行委員会等設立年月①	令和〇〇 年 〇〇 月				
役員 ②			関連団体 ③		
委員長 〇〇 〇〇 (〇〇獅子舞保存会会長) 副委員長 〇〇 〇〇 (〇〇市芸術文化協会) 監事 〇〇 〇〇 (〇〇市教育委員会〇〇課長) 会計 〇〇 〇〇 (〇〇市〇〇課長)			〇〇獅子舞保存会 〇〇市観光協会 〇〇〇の会 〇〇新聞社		
設置目的 ④	(設置目的の概要) 協議会は、〇×市の文化をまちの誇りとして広く情報発信し、.....などにより後継者育成に取り組み、〇〇文化の発展.....伝統文化等の振興等を設置目的とする。  (事務局体制) 事務局（経理含む）は〇×市〇〇課内に置く。  ※協議会等及び構成団体の定款に類する規約並びに構成員・構成団体の名簿は別添のとおり				

※ 実行委員会等及び構成団体の定款に類する規約及び名簿を併せて提出すること。

- ① 設立した年月を記載してください。定款等に類する規約に基づき記載してください。
  - ② 代表者、役員、監査担当者、経理担当者、その他事務職員を記入してください。  
監査担当者及び経理担当者は記入必須です。
  - ③ 実行委員会等の構成団体や補助事業実施にかかわる団体があれば記載してください。
  - ④ 設置目的を記載してください。別途提出する実行委員会及び構成団体の定款に類する規約と齟齬のないよう留意してください。
- ※公募期限までに実行委員会の設立が出来ない場合は、暫定組織として応募書類を提出し、詳細が決まり次第、正式版を提出してください。但し、採否の決定(令和3年4月上旬ごろ)までには、正式に設立されている必要があります。

A. 体験型イベント事業

(様式1-3)

8. 「5. 実施事業の内容」に以下の取組を含む場合、その内容

※1 該当する項目のみ記載してください ※2 必要に応じ枠の大きさは変更してよいが1ページ以内

(1) 伝統文化親子教室事業(教室実施型)の実施教室数が少ない地域での取組

※地域での伝統文化親子教室事業(教室実施型)の実施教室数の状況がわかるよう、具体的に記載してください

・当市の伝統文化親子教室事業(教室実施型)の教室数は、〇であり、特に△△地域については、伝統文化等を体験できる教室がないのが実情である。そのため、今回は△△地域の子供たちの体験機会充実を目的に実施する。

(2) 地域の特色ある生活文化等を活かした取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

・当市の郷土芸能である□□を実際に親子で体験するブースを設けるとともに、□□の歴史や由来を説明するパネル展示コーナーを設ける

(3) 地域の伝統文化の指導者、または地方公共団体等と有機的に連携した取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

・伝統文化親子教室事業(教室実施型)を平成19年度から実施している〇〇太鼓保存会の講師による〇〇太鼓体験ブースを設置

(4) 新型コロナウイルス感染症(COVID19)拡大防止対策として実施する取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

・伝統芸能団体が舞台上で披露する発表について、当日、ホームページ上でオンライン配信を実施。

(5) 教員が伝統文化等について子供たちに効果的に伝えていくために必要な基本的な知識の習得や体験をする機会を設ける取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

(6) 実施する取組が地域または伝統文化等の課題解決に資するような取組

※地域の課題や取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

【収支予算書】(子供たちのための伝統文化の体験回復事業 A. 体験型イベント事業) (様式1-4)  
 (収入の部) (単位:円)

区 分	予定額	備 考
自己負担額	0	
その他の収入	0	入場料・寄付金等内容を記載
小 計	0	
支援金額	10,000,000	
合 計	10,000,000	

(支出の部) (単位:円)

	費目	積算内訳	支出予定額	支援対象経費
事業費	人件費	書類作成 1,050円×7時間×1名×30日	220,500	220,500
	諸謝金	講師謝金 5,100円×4時間×50名	1,020,000	1,020,000
		講師補助者謝金 5,100円×4時間×10名	204,000	204,000
	旅費	講師旅費 1,000円×80名	80,000	80,000
		講師補助者旅費 1,000円×10名	10,000	10,000
		関係者連絡会議出席旅費 1,000円×5名	5,000	5,000
	借損料	会場使用料(文化会館)	600,000	600,000
		会議室使用料(関係者連絡会議)	30,000	30,000
		衣装・用具借損料	500,000	500,000
	消耗品費	茶道体験ブース消耗品(茶筌, 茶菓子等)	90,000	90,000
		華道体験ブース消耗品(花代, オアシス等)	80,000	80,000
		食文化体験ブース消耗品(材料費, 紙ナプキン等)	60,000	60,000
		民俗芸能体験ブース消耗品(子供用パチ)	80,000	80,000
	会議費	会議用飲料代(1回)	2,000	2,000
通信運搬費	チラシ郵送代(100か所)	60,000	60,000	
雑役務費	チラシ作成費(5,000枚)	50,000	50,000	
	用具運搬代	200,000	200,000	
保険料	傷害保険代100円×200人	20,000	20,000	
委託費	再委託費	会場設営費	2,719,500	2,719,500
		イベント運営費	2,000,000	2,000,000
		動画配信委託費	1,969,000	1,969,000
消費税相当額	※課税事業者のみ			
一般管理費				
事業実施経費計			10,000,000	10,000,000

**【募集要項】A. 体験型イベント募集**

・様式1-1～1-4の内容を以下の表に簡潔に記載してください。  
 ・本表の各項目番号は様式1-1～1-4の項目番号とリンクしています。

都道府県名	応募団体名 (※法人名称)	応募団体 代表者 職名	応募団体 代表者名	実施計画の名称	実施計画の期間	実施計画の背景・目的	対象とする分野	事業内容	実施体制	実施事業の広域	次のいずれかについて配慮した取組であれば記載ください。(加点点項目)				総事業費 (円)	申請額 (円)	連絡担当者				
											伝統文化親子体験事業 (※教育型)の事業 取組が少ない地域での 取組	地域の特色ある生活文 化等を活かした取組	地域の伝統文化の継承 等。また伝統文化の継 承等と有機的に連携し た取組	新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)発生 防止策として実施する 取組			教育が伝統文化に関 して子供たちに効果的 に伝えていること、こ んな伝統文化の継承 策に資するような取 組	実施する取組が地域ま たは伝統文化の継承 解決に資するような取 組	所属部署 所属団体	氏名	住所
〇〇県	△△市	市長	●● 〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	*〇〇年〇〇月〇〇日 ~ *〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇〇〇〇〇〇〇 △△△△△△△ ×××××××	茶道、書道、和 装、和太鼓、園芸	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ①・…………… ②・…………… ③・……………	〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	2,000,000 円	1,500,000 円	〇〇県 文化継承課	文化 次郎	〒000-0000 東京都山田区 東大橋通松原 上三丁目 3番10-5	075-000-0000	huk@huk.co.jp	
京都府	〇〇市実行委員会	会長	京都 次郎	〇〇〇市伝統文化親子体 験フェスタ	*〇〇年〇〇月〇〇日 ~ *〇〇年〇〇月〇〇日	過疎化・少子化に伴い、地 域での伝統文化の担い手 が減少する中、様々な伝統 文化を体験できる伝統文 化親子体験フェスタを実施 することによって、伝統文 化の継承を促すことにつ ながる。	茶道、書道、書文 化、伝統芸能(〇〇 尺取、△△△)	1日間で市議会文化会館 に多数の伝統文化(茶 道、書道、伝統芸能(〇 の尺取、△△△))を体 験し、学習できるブース を設け、参加する親子に 個性で体験・学習してし らう。	市役所内での関係課と の連携 ・市役所内での関係課と の連携 ・市役所内での関係課と の連携	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ①・…………… ②・…………… ③・……………	〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇	10,000,000 円	10,000,000 円	〇〇県 〇〇課〇〇室	文化 次郎	〒123-4567 京都府〇〇市 〇〇〇〇〇〇	000-00-0000	〇〇〇〇@〇〇〇〇.jp	